

ミニミニマインズ ~博物館だより~

平成19年8月号 第151号

前期企画展はじまる

いよいよ前期企画展「津波の正体にせまる—津波研究の最前線」が始まりました。

去る7月27日に行われた前披露では、本学・土木環境工学部の松富 英夫教授による解説が行われました(右の写真)。最近の主な津波災害と研究成果等の話を、出席者の皆さんは興味深そうに聞き入っていました。会場には、津波が発生し陸地(町の中)に押し寄せてきた場合の映像をCGでシミュレーションしているモニターもあり、あまりにリアルな映像に本物の津波の映像と間違ふ出席者の方もいらっしゃいました。



8月4日(土)には、講師に日本大学大学院総合科学研究科の首藤 伸夫先生(左の写真)を迎え、「日本海中部地震津波から四半世紀」という演題で講演をして頂きました。講演の後には、活発な質疑応答が行われ、講演会はおかげさまで大盛況に終わりました。

前期企画展は9月2日まで開催しております。

津波についての理解を深めることのできる絶好の機会です。まだご覧になっていない方はこの機会に是非ご家族やご友人の皆様とお越しください。

ジュニアサイエンススクール開催!

8月2日(木)~3日(金)、ジュニアサイエンススクールが開催されました。両日35°Cを越える猛暑の中、ケガや事故もなく無事全ての日程を終えることができました。

一日目は、由利本荘市の山中で貝化石の採集を行いました。まずは、岩城海岸で現生の『海』の貝がらを拾ってから、目的地へ。はじめは、「こんな山の中に化石があるの?」「暑い~!!」と大騒ぎしていた子供たちもいざ採集が始まると夢中で取り組んでいました。帰る頃には「まだ帰りたくない。」「もっとやりたい。」と言う子供たちも多かったです。(化石採集の様子は当日のAKTスーパーニュース〈18:00~〉で放映されました。)



二日目は、前日に採集した化石のクリーニングを当館の講堂で行いました。作業がなかなかうまくできない子もいましたが、講師やボランティアに手伝ってもらって、標本を完成させていました。(この様子は8月5日付の秋田魁新聞に掲載されました)。二日間の日程を終え、全員笑顔いっぱい満足した様子で博物館を後にしました。

ジュニアサイエンススクール成功の為に尽力して下さった東北大学の島本先生、サイエンスボランティア・学生ボランティアの皆さん、現地でお世話して下さった由利本荘市教育委員会の皆さん、本当にありがとうございました。



右・東北大学総合学術博物館の島本昌憲先生
左・秋田大学鉱業博物館の西川治先生